

第61回

全国知的障害福祉関係 職員研究大会

福島大会

開催日／ 2025年11月27日(木)・28日(金)

会場／ 全体会・分科会／ビッグパレットふくしま
情報交換会／郡山ビューホテル・アネックス

大会テーマ
「**明るい未来と未来6**」
支援に携わる職員が福祉の未来を形作る

【主催】

公益財団法人日本知的障害者福祉協会

東北地区知的障害者福祉協会・福島県知的障害者福祉協会

第61回 全国知的障害福祉関係職員研究大会 福島大会 開催要項

【大会テーマ】



明る未来と未来の福祉
～支援に携わる職員が福祉の未来を形作る～

【趣 旨】



今、障がい福祉の現場で働いている職員の皆さんは、自分の仕事に誇りや夢を持っていますか？日々の業務に追われ、初めて仕事に就いた時の気持ち、夢や希望を忘れていませんか？障がい福祉の現場で働いている職員の皆さんには、ソーシャルワーカーとして高い専門知識と実践の積み重ねによる専門性が求められています。しかしながら、超高齢・少子化社会における深刻な人材不足等は支援の質の低下を招き、支援に携わる職員の皆さんを疲弊させています。

このような中、デジタル技術の躍進は私たちの生活や仕事などに様々な変化をもたらしており、私たちはそれらの発展に一筋の光を見出すと共に否が応でも変化や対応を迫られています。その一方で、福祉は人と人が支え合う対人支援・対人サービスであり、いかにデジタル化が進もうともアナログマインドが根底に息づいています。

デジタルとアナログが交錯する未来において、障がいのある人(クライアント)の幸せとは、支援者としてのやりがいとは何なののでしょうか。本研究大会では、変わりゆく福祉と変わらない福祉の未来を支える職員の皆さんに、あらためて福祉の仕事の楽しさと明るさを伝え、夢や希望を持って働いていただけることを目的に開催します。未来の福祉に思いを馳せながらも福祉の原点に立ち返る中で、福祉に携わる職員のやりがいや元気を取り戻し、明る未来について語り合しましょう。

【開 催 日】



2025 年 11 月 27 日(木)～28 日(金)

【実 施 方 法】



対面

【会 場】



全体会・分科会：ビッグパレットふくしま（福島県郡山市南二丁目 52 番地）

情報交換会：郡山ビューホテル・アネックス（福島県郡山市中町 10-10）

【参 加 対 象 者】



知的障害関係施設・事業所の職員、福祉に関心のある方

【大会参加費】



16,000 円

【情報交換会費】



12,000 円

【プログラム】



- 1日目：全体会(開会式・福祉事業功労者表彰授賞式・行政説明・基調講演・閉会式)
情報交換会
- 2日目：分科会(6分科会)

【主催】



公益財団法人日本知的障害者福祉協会
東北地区知的障害者福祉協会
福島県知的障害者福祉協会

【後援(予定)】



厚生労働省
文部科学省
こども家庭庁
一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会
一般社団法人全国児童発達支援協議会
社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国社会就労センター協議会
社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会
公益社団法人全国脊髄損傷者連合会
特定非営利活動法人全国地域生活支援ネットワーク
一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会
一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会
障害のある人と援助者でつくる日本グループホーム学会
一般社団法人日本自閉症協会
公益社団法人日本重症心身障害福祉協会
特定非営利活動法人日本障害者協議会
公益社団法人日本精神科病院協会
特定非営利活動法人日本相談支援専門員協会
一般社団法人日本発達障害ネットワーク
公益社団法人日本発達障害連盟
一般社団法人全日本自閉症支援者協会

【県内後援】



福島県
郡山市
社会福祉法人福島県社会福祉協議会
一般社団法人福島県社会福祉士会
公益財団法人福島県身体障がい者福祉協会
福島県授産事業振興会
一般社団法人福島県相談支援専門員協会
一般社団法人福島県精神保健福祉士会
福島県知的障害児者生活サポート協会

【大会日程】



〈1日目〉

令和7年11月27日(木)	
12:00	受付
13:00	開会式(開会宣言・主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介・祝電披露)
13:30	福祉事業功労者表彰授賞式
13:45	行政説明(厚生労働省)
14:45	休憩
15:00	基調講演 演題:「明るく、楽しく、あきらめない」 講師:辻井いつ子 氏(世界的ピアニスト辻井伸行氏の母) ～辻井伸行さんとのエピソードを通し、子どもの才能のを見つけ方や伸ばし方、 明るく楽しくあきらめない生き方について～
16:30	閉会式(次期開催県挨拶:香川県知的障害者福祉協会・閉会宣言)
16:45	事務連絡
16:50	1日目終了・移動(情報交換会に申し込まれた方)
18:30	情報交換会:郡山ビューホテル・アネックス
18:35	開催挨拶
18:40	乾杯
19:30	アトラクション(チアリーディング) B.LEAGUE 所属のプロバスケットボールチーム福島ファイヤーボンズ チアリーダーレイグリッターズ出演予定!!
20:30	中締め

〈2日目〉

令和7年11月28日(金)	
9:30	受付
10:00	分科会Ⅰ～Ⅲ ※詳細は5ページを参照
11:30	昼食
12:30	受付
13:00	分科会Ⅳ～Ⅵ ※詳細は6ページを参照
14:30	大会終了



■主な講演内容 (辻井いつ子氏からのメッセージ)

「明るく、楽しく、あきらめない」

息子・伸行の音楽の才能を引き出した経験を生かし、子どもの才能をいかに見つけて伸ばすかについてお話しします。「“この子らしく”育てる方法」「子どもの才能を伸ばすための習い事と先生の見つけ方」など、教育者や親御さんにとって関心の高い内容をお伝えしていきます。



■講師プロフィール

世界的ピアニスト辻井伸行氏の母 辻井 いつ子(つじい いつこ) 氏

1960年、東京生まれ。東京女学館短大卒業後、フリーのアナウンサーとして活躍。86年、産婦人科医の辻井孝氏と結婚。88年に生まれた長男・伸行氏が生後まもなく全盲とわかり、絶望と不安のなか、育児書や子育てマニュアルが全く役に立たないところから、手探りで子育てをスタートする。

「明るく、楽しく、あきらめない」をモットーに、持ち前のポジティブさと行動力で伸行氏を育てる。常に子どもの可能性を信じ、よく見て、ほめる「親ばか」の子育てで、生後8カ月で伸行氏の音楽の才能を見つけ、プロのピアニストへと二人三脚で歩む。

その結果、2009年6月、アメリカで開催された第13回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで、伸行氏は日本人初の優勝を果たす。

自身の経験をもとに各地で講演活動を行う。主な著書に「今日の風、なに色? CDブック」(アスコム刊)などがある。



■プロフィール

ラジオパーソナリティ 和合 敦子(わごう あつこ) 氏

1968年山形県生まれ。福島市在住。地元福島のラジオ局の昼ワイド番組で長年に渡りパーソナリティを務め、イベント司会でも活躍中。

「第47回国民体育大会やまがた大会・第28回全国身体障害者スポーツ大会総合開・閉会式」(山形県)、「チャングムスターと韓国料理を楽しむ」(福島民報社/河北新報社/山形新聞社)、「映画『フラガール』舞台挨拶」(福島会場・李相日監督来場)、「吉永小百合朗読会 第二楽章ふくしまへの思い」(日本伝統文化振興財団・ピクチャーケンウッド エンタテインメント)、「第55回全国学校体育研究会福島大会」(スポーツ庁/公益財団法人日本学校体育研究連合会/福島県教育委員会)、「映画『クソ野郎と美しき仲間たち』舞台挨拶(香取慎吾さん来場)」(キノフィルムズ)...他、各種講演会、式典、音楽コンサート、映画舞台挨拶、ソーシャルダンスパーティー等、文化イベント司会多数。



■午前部：アナログ

テーマ、講師、分科会主旨

分科会
Ⅰ「緊急・災害時における子どもへの支援を考える」
～普段の生活の中からヒントを見つけよう～

福島学院大学 客員講師 川島慶子 氏

〈アナログ部門：分科会主旨〉

- ①緊急・災害時における障がいのある子どもの避難とその支援について、これまでの災害発生後に把握された支援ニーズにはどのようなものがあるか。
- ②平時における、普段の生活の中で子どもの発達特性や行動をどのように捉え（アセスメント）、どのように情報を共有しているか。これまでの知見と現在の支援を振り返り、今後の緊急・災害時における備え（支援）について考える機会にしたいと考えています。

分科会
Ⅱ「毎日を大切に生きる」
～利用者の望む暮らしと私たちの仕事～

東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授

東洋大学大学院社会福祉学研究科長

東洋大学社会貢献センター長 高山直樹 氏

〈アナログ部門：分科会主旨〉

ふと気づけば、繰り返される毎日。その繰り返される毎日の中で、いつものように私たちは業務を行い、支援される側も支援する側もどこかでそれが当たり前になり、実は大切なことを見失ってはいないでしょうか。効率的で安心・安全な毎日ばかりを望み、『しかたがない』と成長することを諦めてはいないでしょうか。

当然のことですが、今日という日は二度と訪れません。だからこそ、かけがえのない一日一日を大切に生きるために、利用者の皆さんが望む暮らしとはなにか、私たちの仕事の価値とは何か、もう一度、問い直してみませんか。そしてその先にある『あきらめない』について共に考えましょう。

分科会
Ⅲ「福祉現場と意思決定～これまでと、これから～」
～福祉現場におけるアナログとデジタルの融合を考える～

東洋大学福祉社会デザイン学部 教授 志村健一 氏

〈アナログ部門：分科会主旨〉

知的障害者の支援で柱となるものは意思決定であることは言うまでもありません。それがベースとなり、個別支援計画等の利用者本位に基づく支援が行われているところです。現在、私たちが住んでいる世界はアナログとデジタルの狭間であり、かつ高齢少子化という問題を抱えています。福祉現場においてもアナログとデジタルの一長一短を理解し、応用することが出来れば、意思決定の選択肢を広げるための重要なカギになるのではないのでしょうか。



■午後の部：デジタル

テーマ、講師、分科会主旨

分科会
IV「福祉におけるデジタル技術の日本と海外の比較について」
～保健医療福祉分野の社会的課題とデジタルの可能性～

株式会社国際社会経済研究所
経済安全保障・デジタル社会研究部 主幹研究員 遊間和子 氏

〈デジタル部門：分科会主旨〉

保健医療福祉分野においては、人口構造の変化に伴い、ケアが必要な人々が増加しているが、それを支える人材の不足が顕在化している。デジタル化は、変革の大きな柱のひとつであり、その取り組みは多岐にわたる。AIなどの先端技術を活用した製品・サービスの開発も広がっている。一方で、現場へのデジタルの導入は課題も多く、海外での先進事例なども踏まえ、その解決方法を探索する。

分科会
V「DX がもたらす障害福祉の新たな形」
～変わりゆく障害福祉、未来の福祉に思いを馳せる～

東北福祉大学共生まちづくり学部 共生まちづくり学科 講師 高橋俊史 氏
社会福祉法人清水基金 課長 岡田裕樹 氏

〈デジタル部門：分科会主旨〉

障害者支援は限られたリソースで最大限の提供を求められておりますが、個々の仕事量の多さや情報共有不足が大きな課題であります。その課題の解決のために DXが鍵となります。

障害福祉の新たな進化を目指し、DXにより障害福祉サービスの質はどのように向上するのか、又、具体的にどのような技術が使われているのかなど、障害福祉の未来を切り開くDXの力、DXが障がい者に与える具体的な影響を皆さんと共に考える分科会にしたいと思います。

分科会
VI「障害者支援施設における IT・AI 導入と工賃向上」
～デジタル技術と障害者支援:共存と相乗効果～

一般社団法人スマートインクルージョン推進機構 代表理事
株式会社ユニバーサル・エデュケーション 代表取締役
BBT 大学経営学部グローバル経営学科 准教授
関西学院大学商学部 非常勤講師 竹村和浩 氏

〈デジタル部門：分科会主旨〉

IT・AI 技術は急速に進化し、多くの分野で革新をもたらしていますが、障害者支援施設での具体的な活用は、工賃向上を含む実践には至っていない現状があります。本分科会では、IT・AI 導入の可能性や活用法について学び、職員の負担軽減や業務効率化を通じた支援の質向上を目指します。

また、IT・AI 技術が障害者の就労機会拡大や工賃向上にどのように貢献できるかを考察します。講師による現状の動向分析を通じて、施設運営の新しい可能性を模索し、グループワークにより、未来を見据えた障害者支援の改善策を情報共有します。本研修会が、それぞれの施設が次なる一歩を踏み出すための契機となることを期待いたします。

————— お問い合わせ先 —————

福島県知的障害者福祉協会

〒961-8061 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字上上野原5-3

TEL : **0248-25-3020** FAX : **0248-25-7673**

Mail : **kenfukushikyokai@fukushima-sj.jp**

事務担当者 和知・増井